

学校評価からの課題と改善策

○=良い点 ●=改善点

1 学校教育目標

- 理解とその努力について、肯定的な意見が生徒、保護者ともに向上した。

2 学年・学級経営

- 「充実感・存在感もてる学年・学級づくり」「心の居場所としての学年・学級づくり」は、生徒・保護者の肯定的な意見が増えた。

3 心の教育

- 学校行事や体験活動への理解及びがその努力は、生徒・保護者・教員ともに向上した。教員の意識も高まっている。
- 道徳の時間に対する生徒の評価がやや下がっているため、週1時間の道徳を必ず確保する。

4 特別活動

- 「生徒の主体性や団結力の向上」について、教師側の評価が下がっているのに伴って、生徒や保護者の評価もやや下がっているため、教師側の意識を高め、行事のねらいや目的を学級指導や学級だより等で明確に生徒や保護者にアピールする。
- 「生徒会活動や委員会活動」に対する生徒と保護者の評価が向上した。
- 「生徒会活動や委員会活動」の教師の評価が下がっている。(生徒会活動や委員会活動に係わる教師側の比重に偏りがあることに起因するものと思われる。) ため、生徒会活動や委員会活動により多くの教師が係わるよう工夫する。

5 生徒指導

- 「学校のきまり」や「時間の遵守」は、生徒、保護者、教師ともやや向上した。
- 「生徒への対応」と「保護者との連携」は、保護者の評価が向上した。
- 「生徒への対応」と「保護者との連携」は生徒の評価がやや下がった(「そう思わない」は減少)ので、生徒や保護者との対話やコミュニケーションを積極的に行うよう努める。

6 進路指導

- 進路学習は、生徒、教員の評価が向上した。
- 進路学習の保護者の評価がやや下がったので、継続的、定期的な指導が必要である。
- 進路情報の提供は、教員で向上した。
- 進路情報の提供は、保護者がやや下がったので、各学年に応じて学年通信などに情報提供欄を常設し、継続的に提供するなどの工夫が必要である。

7 学校保健安全

- 「健康に関する指導と情報の提供」は、生徒、保護者が向上した。
- 「安全な教育環境づくり」は、生徒、保護者、教員ともに向上した。
- 「登下校中の交通安全指導」は、教員の意識が高まり、生徒、保護者とも向上した。

8 部活動

- 「社会生活に必要な礼儀・忍耐・向上心の指導」は、生徒、保護者の評価が向上した。
- 「生徒の自主的・自発的な部活動の指導と援助」は、生徒の評価がやや向上した。
- 「生徒の自主的・自発的な部活動の指導と援助」は、保護者の評価が下がっているため、部活動の様子等を積極的に知らせる工夫をする必要がある。

9 特色ある学校づくり(キャリア教育の推進)

- ※ 肯定的な評価が、生徒 72.9%、保護者 72.7%、教師 83.3%であった。
本校の特色についての意識と周知度を更に上げたい。

10 学習指導(学習習慣を育む家庭学習の奨励)

- ※ 肯定的な評価が、生徒 82.2%、保護者 88.9%、教師 87.5%であった。保護者の評価が高かったことは、教員と家庭との連携という点で大いに評価できる。

※=本年度からの評価項目